

とにかく東北に行こう！（2017/6/12）



株式会社パソナ東北創生



目次

- ①自己紹介・起業までの経緯
- ②現在の取り組み
- ③地域で働く魅力と今後について

①自己紹介・起業までの経緯

②現在の取り組み

③地域で働く魅力と今後について

自己紹介

戸塚 絵梨子（とつか えりこ）
東京都中野区出身
早稲田大学教育学部 2009年卒



入社～休職

2009年 4月(1年目) (株)パソナ入社
人材派遣サービスの営業部門にて外勤営業を担当

2011年 3月(2年目) 東日本大震災
2011年 5月(3年目) 社内有志のグループで復興支援活動を開始

2012年 6月(4年目) 会社を休職し、NPO法人etic. 右腕派遣プログラムを通じて
岩手県釜石市の一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校にて活動
(※釜石との出会い)



- 「いつか」ではなく、「いま」やろうと思うようになった
- 豊かさとは何か、考えるようになった
- 地方における課題を自分事として考えるようになった

地域の人とのつながりで釜石が大好きになった
「いってらっしゃい」といわれて東京に帰った日

復職～社内ベンチャー

- 2013年(5年目) 復職 東京で営業職を担当する傍ら
社員有志で復興支援活動を行ったり、
釜石への週末ツアーを企画したり。
- 2014年(6年目) ・グループ代表、役員総勢60名で釜石訪問
・仲間の休職(釜石市での活動)
・自分自身の葛藤
⇒社内ベンチャー制度で事業提案
- 2015年(7年目) (株)パソナ 東北創生を岩手県釜石市に設立

週末スタディーツアー（社内外、学生対象）

■スケジュール

1日目	
7時56分	東京駅・出発<はやて103号>
10時22分	一ノ関駅・到着
10時30分	一ノ関駅で車に乗り出発
12時00分	おすすめツアー参加 (ツアー詳細は別資料をご確認下さい)
21時00分	ホテル●●・到着
2日目	
8時30分	ホテル●●・出発
9時00分	けせん朝市・見学
10時00分	陸前高田市内・見学
12時00分	ランチ
13時00分	陸前高田市・見学、お土産購入
19時23分	一ノ関駅・出発<やまびこ66号>



目的

未曾有の震災災害に見舞われた東日本大震災の被災地の復興には、大規模な財政支援や規制緩和等の柔軟な制度運用、そうした施策を確実に実施するための人的支援等の取組が不可欠であり、実際、巨額な予算や官民の人材が全国から被災地に入っています。しかしながら、被災地の状況は日々刻々と変化しており、広域な被災地では抱える課題も地域ごとに様々です。

そのため、中長期的な復興支援を考えると、現場で日々課題に向き合う被災地事業者、被災自治体、NPO、支援企業の方々と、中央官庁職員の皆様が連携し合い、現場のありのままの現状を捉え、現場の課題ニーズを把握することが有効と考えます。

その際、形式的な会議などを開いたり、互いの所属に促されたりすることなく、組織の人間である以前に、一人の人間として被災地の人と触れあうことで、被災地の本音を汲み取り、それを組織の一人として本心に伝え、行動に反映していくことが重要であると考えます。

本企画はそうした関係者から立ち上がったものです。今後の日本を築き上げていく中央官庁職員の皆様、今後の日本に突き付けられるであろう多くの課題に、今現在、正面から対峙している被災地に赴き、そして志を新たにします。そんな機会にしたい、そう考えています。

- 1. 中央官庁職員の被災地復興に関する現状の問題理解と強い使命感の醸成
- 2. 中央官庁職員、被災地企業経営者、被災地行政担当者、現場で活動する支援者、等の個人間の繋がりや仲間意識形成
- 3. 復興の志・ミッションに基づいた



週末スタディーツアー（社内外、学生対象）





目次

- ①自己紹介・起業までの経緯
- ②現在の取り組み
- ③地域で働く魅力と今後について

パソナ東北創生のビジョン：

三陸沿岸を中心とした、多様な働き方の支援・交流人口の増加を通じて都市と地域の関係を見直し、持続可能で豊かな働き方・生き方の創造を目指します。

実施事業

【交流促進事業】

都市と地域での交流や研修ツーリズムを通して自身の生き方・働き方、または自社のあり方を見つめ、考える機会を作ります。

- 研修ツーリズム
- 学生インターン
- 移住支援ツアー

【なりわい・働き方創造支援】

地域で実践的に新しい暮らしや地域資源を軸にしたなりわい・仕事を創出する人材や事業を支援します。

（移住支援・起業支援・事業PR支援等）

- ローカルベンチャー推進事業
- 釜石市人材マッチング事業
- 農作物の6次産業化支援

会社概要

会社名	株式会社パソナ東北創生
本社所在地 東京事務所	岩手県釜石市甲子町5-72 東京都千代田区大手町2-6-4
株主構成	株式会社パソナグループ キャプラン株式会社
設立	2015年4月1日
役員構成	代表取締役 戸塚 絵梨子 取締役 石倉 佳那子 取締役 武井 伸夫 監査役 渡辺 佳昭
資本金等	合計 20百万円
事業内容	研修ツーリズム事業 地域開発支援事業 等

短期地域滞在型研修 実施例①対象：若手社会人・内定者（2泊3日）

短期・中期
地域滞在型研修

＜イノベーターの生き様に触れ、自分の生き方や働き方を考える3日間＞

復興の最前線で活躍するイノベーター・団体から「働くとは何か」、「仕事とは何か」について学び、主体的・自律的に課題解決に取り組む姿勢を養います。

	行程	ポイント
1日目	10:10 JR一関駅集合 11:30 陸前高田市視察 13:00 漁師体験 牡蠣養殖場見学 17:00 振り返り・ワークショップ	● 本で読む知識と、実際に目で見えるもの、体験を通してわかることの違いに焦点を当て、五感で感じることで自分事として社会課題をきっかけをつくる
2日目	9:00 現地のイノベーターによる講話 13:00 広田半島へ移動 NPO法人SET 代表講話 16:00 釜石市宝来館にて避難道・コミュニティスペース 視察・女将講話 19:00 振り返り・ワークショップ	● 0から1を作りだすイノベーターの話に触れ、用意されたものではなく、自律的に考え行動することを学ぶ ● リーダーシップとは何か、リーダーがどのように周りを巻き込み事を成したのかを学ぶ
3日目	8:30 一般社団法人 UnitedGreen エコハウスにて沢の散策、水汲み、薪割り、火起こし体験 代表講話 12:00 創作農家こすもすにて 希望の壁画・鐘、公園案内 ピザ作り体験 14:00 こすもす代表講話 振り返り・ワークショップ 17:30 JR新花巻駅解散	



■ 20代 女性 入社前研修

今までは自分の持つ力なんかはちっぽけで、
私が被災地の抱える問題を解決することなんてできないと
思っていました。でも実際にたくさんの方の話を聞いて、
頭がグチャグチャになるほどの情報を手にして、そこにあるの
は被災地の問題ではなく日本の抱える問題なのだとわかり
ました。そこにあるのが日本全体の問題なのだとしたら、
私が日本人として生きる限り必ず出来ることがたくさんある。
そう確信しました。
今回の経験が何かのきっかけではじめて大きなものを生み
出すであろう日まで、日々前にあるものに懸命に向かいたい
と思います。

短期地域滞在型研修 実施例②対象：企業役員研修（1泊2日）

＜4つのテーマ分野から新たな着想を得るコース別研修＞

農業、漁業、林業それぞれの分野でICTや新技術を活用しイノベーションを生み出す
地域の経営者とのセッションを通し、ビジネスの着想を得、協業アイデアを考えます。

	行程
コース①	12:00 昼食 大船渡屋台村 にて 大船渡越喜来湾周辺を視察 13:30 三陸とれたて市場 八木代表講和 14:30 CAS冷凍施設視察・体験 ・施設案内 ・持参した食品等をCAS冷凍 15:30 未来創造ワークセッション 17:00 冷凍したCAS冷凍品の取り出し
コース②	11:30 長谷川建設 長谷川社長ご挨拶 12:30 村上製材所 視察・刻印体験 14:00 昼憩 箱根山テラスにて ・施設案内 15:00 長谷川社長 講和 ・意見交換
合流後	18:30 大船渡プラザホテルにて 研修振り返り、戦略立案プレゼン 2日目 釜石市 市長講話 被災地ガイド



■ 40代 男性 営業企画部門役員

改革的な事業者の話を直接見て聞くことは貴重な体験であり、
都会でなく釜石でそれを実現していること、
事業を拡大することに重きを置いているのではなく、
地域活性に力を注ぎ、事業としても成功させている姿が印象的。

また、社長の「転ぶなら前に転べ」という言葉が、大変印象に残っております。
ひとつの企業、一人の優秀な人材が社会に与える影響力について目の当りに
しました。

自身の組織で人材を活かすこと、
社会貢献と事業の成功を両立することを目指します。

短期地域滞在型研修 実施例③対象：台湾人大学生（3泊4日）

	行程
1日目	16:35 新花巻駅着 17:30 遠野 道の駅『風の丘』 18:30 釜石着 古民家にて歓迎会・民泊
2日目	7:45 民泊先にて朝食 8:30 出発 10:30 陸前高田 被災した道の駅タピックへ 12:00 大船渡 寿限無亭 で薪割り体験 14:00 寿限無亭発 15:30 大槌入り 越田鮮魚店へ 17:00 大槌民泊先着 民泊先にて夕食・宿泊
3日目	7:00 起床・朝食 大槌湾にて漁師体験 (牡蠣の殻剥き、ワカメ刈り取り) 12:00 昼食@釜石市内 13:00 サンフィッシュ(市場見学)、シープラザでお土産 14:30 創作農家こすもすにて茶道体験 16:30 ピザ作り体験 17:30 夕食・宿泊
4日目	7:45 民泊先にて朝食 9:00 釜石駅にてお見送り・解散



震災後の支援に感謝をする地元の方



遠野の「どぶろく」に初挑戦



民泊での「こたつにみかん」に感動



初めての雪に大興奮



被災した地域を訪れたとき、**たしかにこの目で自然の威力を目の当たりにしました。**
いつもは穏やかな海も、地殻変動の物理作用で波が大きく荒れて、すべてを破壊します。
大自然の力は本当に不思議です。
いわゆる「水能載舟亦能覆舟（水は船を載せ、また船を覆す）」を思い起こさせます。

最後の日は**人生で初めて雪を見たので、非常に興奮しました。**
雪の上に大の字になって寝たり、雪合戦したりするのも初めてでした。すごくうれしかったです。

今回、この旅行に参加したのは正しい選択でした。
岩手で経験したことは台湾では体験できません。出会った方々もみんないい人ばかりでした。
夜はみんなでいっしょにコタツを囲んで話をして、感激しました。

ももとの日本の全体的な印象はきれいで、とても親切でした。
今回の教育旅行では、わかめとりや茶道、ピザ作りなど、一生に一回しか体験できない体験
ができ、たくさんの収穫がありました。
今回の教育旅行の最大の収穫は顔と顔を見て直接日本人と接触したことでした。
衣食住すべての方向から日本人の生活を体験しました。

LOCAL PLUS
in Kamakishi

**暮らしのすべてが
キャリアになる。**

**釜石発、地域と自分が変わる
7週間のローカルステイ**

復興×地方創生の
最前線を体験！
地場産物を使った
新しい働き方実践！

2016.2.7Sun.-3.26Sat.

プログラム概要

地域おこし導入研修＋
実践フィールドワーク実習

参加費 無料

参加費 無料
交通費補助 滞在費・活動費支給あり

**12/14
Mon.**
東京説明会
参加受付中！

LOCAL PLUS in Kamakishiとは

「暮らしのすべてがキャリアになる。」
この言葉が、釜石発のローカルプラスの理念です。地域おこしと、自分自身のキャリアの両方を同時に実現できる、そんな場所を創出したい。それが、ローカルプラスの目指すところです。

STEP1 12月～1月 地域入門
・現地での生活する環境コーディネーターから
地域入門研修
・地域民との関係の構築や交流

STEP2 2月～3月 実践フィールドワーク
・コーディネーターサポートメンバーとの
実地研修やサポートあり

―― フィールドワーク ―

地域おこし
実践研修
・地域民との関係の構築や交流
・地域おこし実践研修
・地域民との関係の構築や交流

地域おこし
実践研修
・地域民との関係の構築や交流
・地域おこし実践研修
・地域民との関係の構築や交流

参加の流れ

STEP1: 12月上旬～12月下旬
説明会・研修・フィールドワーク

STEP2: 12月下旬～1月中旬
実践フィールドワーク実施

お問い合わせ先 一般社団法人 復興・地域おこし推進センター
〒985-0801 宮城県釜石市大森 1-1-1
Tel: 022-822-1111 Fax: 022-822-1112
E-mail: info@kamakishi-plus.jp

実施事業例【交流促進事業】ーインバウンド受入れ

- 日程 : 2016年1月24～27日 (3泊4日)
 □参加者 : 台湾 3名
 □体験内容 :
 ・釜石市・大槌町の古民家にて民泊
 ・陸前高田市の震災以降の視察
 ・大槌湾にて漁業体験 (牡蠣の殻剥き)
 ・農家レストランにて地元の食材を使ったピザ作り体験

- 日程 : 2016年10月1～2日 (1泊2日)
 □対象者 : 台湾・中国・タイ・アメリカ 4名
 □体験内容 :
 ・釜石湾クルージング
 ・尾崎半島トレッキング
 ・三陸鉄道にて 釜石～大船渡周遊体験

アンケートより

- ・岩手で経験したことは台湾では体験できません。出会った方々もみんないい人ばかりでした。夜はみんなでいっしょにコタツを囲んで話をし、感激しました。
- ・もともと日本の全体的な印象はきれいで、とても親切でした。今回の旅行では、わかめとりや茶道、ピザ作りなど、一生に一回しか体験できない体験ができ、たくさんの収穫がありました。
- ・今回の教育旅行の最大の収穫は顔と顔を見て直接日本人と接触したことでした。衣食住すべての方向から日本人の生活を体験しました。



震災後の支援に感謝をする地元の方



民泊での「こたつにみかん」に感動



釜石湾クルーズ



半島トレッキングの説明中



農家レストランにて



初めての雪に大興奮

実施事業例【交流促進事業】ー岩手県移住体験ツアー

岩手県4か所にて、2泊3日の移住体験ツアーを実施 (各回参加者15名)
 都内での説明会、交流会実施(3回、各回参加者30名程度)

岩手

「暮らす・働く・生きる」 移住体験ツアー vol.2

岩手で活躍する移住者たちと、暮らしや文化の魅力を体験した昨年度のツアーに続き、今回は、働くことにフォーカス。あなたに合った岩手の仕事を探してみよう！

あなたの希望でツアーをつくらう！

【岩手で働く】を考えるワークショップ

岩手県で活躍する人々の「暮らし」「仕事」が実際にどのようなのか、興味はありますか？
 岩手と東京で2地域居住者を招いて、岩手県が面白い、「岩手暮らし」の魅力を伝えるワークショップを開催します。岩手県内各地の移住者から、岩手の魅力を伝えるだけでなく、岩手の暮らしや仕事に関する質問も受け付けます！

【日程】11月1日(火)
 【時間】19時30分～20時30分
 ※開会費でそのほか参加費(有料)～2時30分まで

【場所】3x3 lab future
 東京都千代田区大塚1-1-2
 大塚駅前タワー3F(3F)101号

【定員】30名

【内容】・ツアー開始の案内
 ・あゆみ半島移住者ワークショップ
 ・岩手県内各地の移住者によるトークセッション
 ・交流会

楽しみながら、ぜひ岩手県に選ばれる「仕事」を探してみよう！

参加費 無料

① 三陸で海と山の暮らしを体験する旅
 ② 地域に根ざした中小規模事業者をめぐる旅
 ③ フリーランスや起業家の働き方に触れる旅
 ④ 多様な仕事、多様な職場 岩手のサラリーマンライフを知る旅

このツアーは、岩手県において「移住・交流促進」を目的として実施するものです。

費用 おひとり 2泊3日 20,000円 (定員 各回15名(催行保証))

※参加費は参加者負担。岩手県に滞在する期間中は、岩手県内各地の移住者から、岩手の魅力を伝えるだけでなく、岩手の暮らしや仕事に関する質問も受け付けます！

申込方法 ワークショップとツアーともに下記までお電話、ファックスまたはインターネットからお申込ください。
 ●ご旅行へのご参加は、岩手県内各地の移住者から、岩手の魅力を伝えるだけでなく、岩手の暮らしや仕事に関する質問も受け付けます！

申込先 (株)岩手県観光 TEL 019-641-8811 (担当:岩手) FAX 019-641-8844
 Mail k-miyagi@iwate-kenpoku.co.jp

主催 いわて定住・交流促進協議会 企画協力 (一社)SAVE IWATE / 岩手県北自動車(株) / 岩手移住計画 / (株)パノラマ東北
 実行委員 (株)岩手県観光 (株)岩手県観光 TEL 019-641-8811 FAX 019-641-8844

- 首都圏での説明会の様子
先輩移住者をお呼びして、説明会、交流会を行った。



- 移住体験ツアーの様子
地元の方と一緒に郷土料理を作っている様子(釜石市)



「甲子地区活性化推進委員会東京支部」の結成



甲子地区を今後も応援したいという思いを持った
これまでのスタディツアーの参加者を中心に、
有志コミュニティ「甲子地区活性化推進委員会東京支部」
を結成。

- メンバー：35名
- ・スタディツアーの参加者
- ・東北出身者
- ・首都圏大学生
- ・社会人



活動内容

- ・現地へのスタディツアー企画・運営
- ・生産者をお呼びした首都圏での発信イベント開催
- ・甲子柿の発信・販路開拓

実施事業例【なりわい・働き方創造支援】－釜石市眠れる労働力人材マッチングプロジェクト

新たな勤務形態「プチ勤務」の導入

- ・労働力不足の解消に向けて、これまで時間の制約があり働きたくても働くことができなかった主婦層や高齢者に活躍いただき、人手不足の解消を図る新たな勤務形態「プチ勤務」（超短時間勤務）の地域内への導入を図る。
- ・（株）リクルートジョブズ、沿岸広域振興局、釜石公共職業安定所、釜石市、大槌町が連携し、地域内の事業所の労働力不足の解消を目指す。

経営者・人事担当者向け
勉強会のお知らせ

主婦・シニアが働きやすい
「プチ勤務」で
潜在労働力を掘り起こす
その効果と創出のポイント

【2016年9月23日（金）】

釜石会場 平成29年9月23日（金）9:30～11:30（9:15～開場）
会場：釜石市交流センター内／釜石市大町1-1-10
大槌会場 平成29年9月23日（金）14:00～16:00（13:45～開場）
会場：大槌町安達町公民館（大槌町上町4-3）

【講師】株式会社リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター
センター長 平塚 伸子氏

【参加費】無料

【申込み】基盤の申込書をFAXまたはメール送信 ※9/16（金）締切
【問合せ】釜石市 産業振興局政策推進課（釜石市）
TEL 0199-25-2701



人材マッチング事業の展開

- ・保育園や幼稚園への入園を控えている子どもを持つ主婦層を主なターゲットとし、眠れる労働力の活用を目指す。
- ・子どもの教育費のシミュレーションなど、生活に直結した役立つ内容をファイナンシャルプランナーから学び、簡単なライフプランを考えるマネー講座の開催し、就業意欲の醸成を図る。
- ・子育て中の母親と企業とのマッチングを図る「子育て・お仕事」大相談会を開催。（保育園・幼稚園への入園相談、子どもの健康相談、専門家によるキャリア相談を実施するなど、育児・仕事・キャリアに役立つ内容に工夫）

平成29年4月入園希望者向け

ママのための
「子育て・お仕事」
大相談会

参加 無料

※子どもとママによる各園・新制度のご説明
※就職相談・主婦歓迎の企業・お仕事紹介
※各園・企業によるキャリア相談
※育児・仕事・キャリアに関する悩みを解決するための相談
※育児・仕事・キャリアに関する悩みを解決するための相談

日時 10月27日（木） 午前10:30～12:00
午後13:30～15:00

会場 イオン釜石 2Fイベントスペース

対象 0～5歳の子どもを持つ親
お申込み 定員10名
QRコードまたは下記URLよりお申込みください
http://recruit.kochi-city.jp/

【問合せ】釜石市 産業振興局政策推進課（釜石市）
TEL 0199-25-2701 FAX 0199-25-2701

平成29年4月入園希望者向け

先輩ママによる幼稚園・保育園
アドバイス座談会

参加 無料

【利用から見た、各園の特徴とは？
入園後に初めてわかったことは？
入園に向けて準備できることは？】

市役所子ども課による
「知っておきたい各園の違いや制度」
の説明、質疑応答も行います。

9月25日（日） 14:00～15:30
10月18日（火） 10:30～12:00

会場 イオン釜石 タウンホール

対象 0～5歳の子どもを持つ親
申込 先着30名、お電話より申込み

【問合せ】釜石市 産業振興局政策推進課（釜石市）
TEL 0199-25-2701 FAX 0199-25-2701



Kamaishi Local Venture 始動!

第一弾イベント!
シェアリングエコノミーx
地域発オープンイノベーションを考える

◆キーンワードスピーチ Airbnb日本法人(予定)
2016年12月1日(木)19:00~
theC 東京都千代田区内神田1-15-10

詳細は裏面へ
To Be Continued...

■「釜石ローカルベンチャープログラム」とは

東日本大震災以降、釜石市は「オープンシティ」を合言葉に、多様な企業・団体との連携によって単なる復興ではなく、新しい価値をもちづくりを進めています。このたび、更なるイノベーションを生み出すためのエンジンとして、2016年12月より広域連携によるローカルベンチャー事業をスタートいたします。

「ローカルベンチャー」とは、地域にある、まだ活用されていない資源を
価値に変え、**地域に新たな経済や暮らしの豊かさを創造するビジネスのこと。**
釜石をフィールドに、本気でこれからの未来づくりを一歩に行いませんか？



■キックオフイベント&説明会 2016年12月1日(木)19:00

2016年10月岩手県Airbnbと釜石市が日本で初協定を結びました。(この文章読む必要あり) 産業界・セクターを超えて価値を「共有(シェア)」していくこと、それによって地域からイノベーションを起こしてより良い経済のモデルをつくるべく挑戦が釜石で始まっています！その仲間と一緒に挑戦しませんか？釜石からどんな挑戦が生まれるのか、ワクワクドキドキしながら参加ください！
[場所]theC 東京都千代田区内神田1-15-10
[対象]オープンイノベーション、新規事業創出、新しい働き方に関心のある方
[イベント詳細ページ] <https://www.facebook.com/events/556451964564635/>
[お申込み]右記QRコードよりお申込みください



■フィールドワーク 2016年12月17日(土)~18日(日)

実際に釜石市に足を運んで、地域特性や産業テーマ、事業創造に触れます。
またメンバーとなる地域の事業者との出会いを通じて、地域で暮らす・起業するイメージを磨かせる1泊2日の現地プログラムです。

[日時] 12月17日(土)~18日(日)
[対象] 釜石でのローカルベンチャーに関心のある方、挑戦してみたい方
[参加費] 1万円
※ 現地までの交通費補助(上限3万円)
[お申込み]右記QRコードよりお申込みください

[訪問先(予定)]
フィールド①：伊豆世商店街
～リノベーションの現場～
フィールド②：釜石大極地方森林組合
～新しい価値創造の現場～
フィールド③：創作農業こすもす
～地域資源ブランド化の現場～

■お問い合わせ

釜石シティプロモーション推進委員会 ローカルベンチャー事務局
Mail: info.kamaishiv@gmail.com

目次

- ①自己紹介・起業までの経緯
- ②現在の取り組み
- ③地域で働く魅力と今後について

地方 = ？

豊か = ？

美味しい食べ物、人、自然、四季
≠癒し・リラックス・ゆったりとした時間

与えられるのではなく、生み出す思考
リソースの幅広さ
思考の自由度